

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	母性看護学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	75 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各施設
担 当 教 員	勝部愛子 他	実務経験と その関連資格	鳥根県立中央病院に助産師として勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>妊婦、産婦、褥婦および新生児の生理的变化を理解し、対象に応じた健康保持増進のための看護を実践できる基礎的能力を養う。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>(1)母性看護学実習Ⅰ評価表に基づいて教員が主体的に行う。出席日数、実習目標の到達度、実習への意欲、実習記録類、カンファレンスへの参加度など総合的に評価する。                  (2)評価基準 ・評価表および実習評価基準に準じる。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>母性看護学① 母性看護学概論 ウイメンズヘルスト看護 メヂカルフレンド社                  ウェルネスからみた母性看護過程 + 病態関連図 医学書院                  ヘルスプロモーション メヂカルフレンド社                  お母さんも支援者も自信がつく母乳育児支援 コミュニケーション術 南山堂                  母性看護技術 看護実践のための根拠がわかる メヂカルフレンド社</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習前の事前課題、100問テストに取り組む</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実習要項を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。見学したい内容に関しては事前に学習しておいて下さい。                  また、各自、健康管理に努め実習に参加して下さい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
学 内 実 習 1～2 日 目	授業を 通じての 到達目標	シミュレーション実習で、周産期における看護と看護技術を学び実施することができる。		病院資料 実習記録1.2	100問テストの実施 分娩見学行動記録(経腔分娩・帝王切開)を作成しておく	
	各コマに おける 授業予定	・実習オリエンテーション・提供する看護のエビデンスを確認するために、必要な事前学習課題の学習をする。・実習事前学習の確認テスト・対象に合わせた技術を提供するために、実習前母性看護技術の確認 ・ビデオを用いて分娩期の経過を理解する。 ・NSTの装着と判読 ・妊娠と分娩に関する施策の確認				
病 院 実 習 1～2 日 目	授業を 通じての 到達目標	周産期にある母子を総合的に理解することができる。 病棟環境に慣れる。		実習記録 (産褥・新生児) 実習記録1.2	施設産褥期パスを確認しておく。 事前学習の追加修正	
	各コマに おける 授業予定	・施設オリエンテーション ・受け持ちは持たず、看護職(看護師・助産師)に同行しながら看護の方法を見学する。 ・男子学生は女子学生と同様に実習する。				
病 院 実 習 3～5 日 目	授業を 通じての 到達目標	周産期にある母子を総合的に理解し、看護実践ができる。		実習記録 (妊娠・分娩) 実習記録3・4	病棟の看護計画を確認しておく。 事前学習の追加修正	
	各コマに おける 授業予定	・産褥経過および新生児の生理と検査を理解し必要な日常生活援助を行なう。 ・情報の分類(模擬事例)・情報のアセスメント(模擬事例)				
病 院 実 習 6～7 日 目	授業を 通じての 到達目標	周産期にある母子を総合的に理解し、看護実践ができる。		テキスト 参考図書 母親学級テキスト 実習記録5.6	施設保健指導を理解する。 産褥期の継続看護を学習する。 周産期に関する制度を学習する。	
	各コマに おける 授業予定	妊娠経過の理解および妊婦健診・検査の援助。 保健指導(個別・集団)の見学。 妊産褥婦の心理的变化を観察し母子相互作用について理解する。				
病 院 実 習 8 日 目	授業を 通じての 到達目標	実習のまとめと振り返り		実習を終えて 評価表	実習を終えて、評価表の振り返りと加地あを書いておく。最終日に再度100問テストを実施する。	
	各コマに おける 授業予定	最終カンファレンスを行い学びを共有する				